

ヘルニア外来

ヘルニア（脱腸）とは、本来、お腹の中にあるはずの内蔵（主に小腸）の一部が、太ももの付け根（そけい部）の筋膜の間から皮膚の下に飛び出てくる病気です。立ちあがった時やお腹に力を入れた時に、そけい部がふくらんでくることで気づき、時に痛みや違和感を伴います。腸が脱出したときに腸閉塞をおこすことがあります。そのようなことがおきないように手術をして治しておきましょう。



ヘルニアは自然には治りません

- 対象
そけいヘルニア、^{だいたい}大腿ヘルニア、^{ふくへきはんはん}腹壁癥痕ヘルニア
- 治療
手術でのみ治ります。メッシュ状の人工布を用いて治します。手術方法には腹腔鏡下手術（約5～10mm前後の小さなキズ）と従来法（約4～5cmのキズ）があります。
- 入院期間
2日（1泊2日）～1週間程度
*患者さんのご都合に合わせた日程を提案します。

■ 診療科 外科

■ 診察日 毎週 月・木曜日 午前 9～12時

上記のような症状にてお困りの方は、ご相談ください